

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2003年（平成15年）10月5日号 No. 1274

目次

●ロシア・エネルギー戦略が描く長期的な生産見通し	1
●キーパーソン	9
新規発足した「ロシア鉄道」の社長にファデーエフ氏／9	
トルクメニスタンで閣僚の異動／9	
●エトセトラ	9
ロシア・カムチャッカ州に関するレポート／9	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	10
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	10

ロシア・エネルギー戦略が描く長期的な生産見通し

はじめに

9月15日号で既報のとおり、ロシア政府は8月28日、かねて検討していた「2020年までの期間のロシアのエネルギー戦略」を正式採択した。むろん、法的拘束力があるわけではなく、社会主義時代の五カ年計画のように国を挙げて実現をめざすような種類の文書ではない。それでも、多分に「希望的観測」に近いものではあれ、ロシアが自国の最大の基幹産業についてどのような青写真を描いているのかを知っておくことは、決して無駄ではないはずだ。

このエネルギー戦略のなかでも、最も興味をもたれるのが、エネルギー生産量の長期的な見通しに関する具体的なデータであろう。そこで本号では、エネルギー戦略に掲げられている各種エネルギーの生産見通しを描いたグラフを紹介するとともに、プログラムの記述の関連部分を抜粋してお届けする。掲載するグラフは以下のとおり。①エネルギー全体の生産・消費。②エネルギー全体の輸出。③石油。④石油精製。⑤天然ガス。⑥石炭。⑦発電。

なお、今回のエネルギー戦略においては、エネルギーの生産・輸出見通しに関して、①楽観的シナリオ、②平均的シナリオ、③悲観的シナリオの3パターンが作成されている。ただし、実際にグラフに示されているデータは、①と②だけである。③の悲観的シナリオのデータについても、プログラムで言及されている場合は、文中で随時紹介していくこととする。

プログラムの原文は→<http://www.mte.gov.ru/files/103/1354.strategy.pdf>